

日本工学院専門学校	開講年度	2019年度	科目名	家具デザイン実習 1	
科目基礎情報					
開設学科	プロダクトデザイン科	コース名	全コース	開設期	前期
対象年次	2年次	科目区分	選択	時間数	60時間
単位数	2単位	開講時間	木曜1時限～	授業形態	実習
教科書/教材	参考作品・参考資料等は、授業中に配布、掲示する。				
担当教員情報					
担当教員	村上 圭一		実務経験の有無・職種	有・家具デザイナー	
学習目的					
この科目を受講する学生は、家具製品の商品企画を行い、技術とノウハウを修得します。これから経験していく仕事の現場で、役に立つ基礎的な家具デザインを実習から学び、素材、道具の正しい選び方、使い方を理解し、身に着けるようになる。プロダクトデザインの「家具設計」に関連するプロセスを理解し、デザイン提案をする際に必要な能力を積極的に学び、実践することができるようになるのがねらいである。					
到達目標					
この科目では、基礎から専門へ移行していく学生に、家具設計に取り組むことで家具デザインをプロセスから学び、アイデアスケッチ・図面の作成・スケールモデルの制作・撮影・プレゼンボード制作・プレゼンテーションと提案型のデザイン手法で、検証を重ねながら制作します。プロダクトデザイナーの仕事を理解して、デザインの現場で活躍するために必要な技術や知識を向上させること、段階的に 素材 の選択、サイズ、カラー、仕上げの選択を考慮して、商品提案ができるようになることを目標にしている。					
教育方法等					
授業概要	この授業では、出題される課題のテーマを講師からの解説を受けます、素材の特性、道具の使い方から、デザインの適正を理解し、提案する実習授業です。講師のデモンストレーションから学びを深め、学生の「家具デザインの企画力」を育成していく。この授業に主体的に参加する学生が、自分の「家具デザイン提案」を自分自身の実践し、プレゼンテーションできるようになることを目指す。				
注意点	この授業では、学生に、家具デザインの企画提案をしてもらう機会になります。授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。今後、現場で求められる専門的な知識と技術の修得を考えた基礎的な実習になります。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者はこの科目合格することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	プレゼン	20%	制作物の発表方法、内容について評価する		
	課題完成度	40%	提出課題完成度を総合的に評価する		
	リサーチ	20%	制作準備と過程を評価する		
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	コートハンガー家具①		作例の製図トレース		
2回	コートハンガー家具②		作例の製図トレース		
3回	コートハンガー家具③		アイデアスケッチをする		
4回	コートハンガー家具④		アイデアスケッチをする		
5回	コートハンガー家具⑤		作図する		
6回	コートハンガー家具⑥		作図する		
7回	コートハンガー家具⑦		スケール模型 1：4 を制作する		
8回	コートハンガー家具⑧		スケール模型 1：4 を制作する		
9回	コートハンガー家具⑨		スケール模型 1：4 を制作する		
10回	コートハンガー家具⑩		スケール模型 1：4 を制作する		
11回	コートハンガー家具⑪		スケール模型 1：4 を制作する		
12回	コートハンガー家具⑫		スケール模型 1：4 を制作する		
13回	コートハンガー家具⑬		スケール模型を撮影する		
14回	コートハンガー家具⑭		スケール模型を撮影する		
15回	作品講評		プレゼンボード 講評会 全体のまとめ		